

# 今話題の 家族葬って？

「家族葬」という言葉をよく耳にしますが、実際にはどのような葬儀か知っていますか？ 1級葬祭ディレクター高橋彦さんに話を聞きました。

「けたくない」という思いで選ぶことが多いようです。しかし、葬儀とは故人や遺族のためだけではなく「生前お世話になったの」で、最後にお別れをしたい」といった故人と社会的な繋がりのある人がお別れをする場でもあります。

以前と比べ、インターネットなどの普及により誰でも多くの情報を得られる時代です。しかし、故人や遺族が満足できる正確な情報かどうかを見極めなければ、後で後悔してしまうことにもなりかねません。

「葬儀の規模を小さくしたものとにかく安価」というイメージがあるようです。しかし、価格の違いではなく、「義理ではなく家族のように親しい方とゆったりお別れする葬儀」とすれば分かりやすいかもしれません。「家族での別れ」に固執してしまうと、葬儀後に「なぜ知らせてくれなかったの？」と親戚や親しい人との関わりなどでトラブルに発展してしまうケースがあるようです。

実は、「家族葬」そのものの正式な定義はありません。そのため、各葬儀社それぞれの家族葬に関する考えがあるようです。「弊社では家族葬の定義を決め、誤解の無いように利用者様にお伝えしています」と話すのは(株)神奈川葬祭県央会館の1級葬祭ディレクターの高橋彦さん。家族葬という名前だけが一人歩きし、一般の人に

「葬儀の料金を抑えて、シンプルに」と家族葬は亡くなった本人が「残された家族に金銭的な迷惑をか

どの方法で葬儀にするにしても、共通しているのは、正確な情報を得ておくこと。「葬儀はもちろん、葬儀後についても様々な手続があるので安心して任せられる葬儀社を探しておくことをおすすめします」と話していました。

【取材協力】(株)神奈川葬祭県央会館

## 葬儀の知識あれこれ

### 数珠

数珠の歴史は古く、日本に伝わったのは500年代といわれています。

本来数珠は108個の玉で構成されており、人間の中にある108の煩惱を退散させて、功德を得るという意味から来ています。最近では四半分の27玉、

108にちなんで18玉などさまざまなものがあります。

### お香典

お香典にはもともと「香をお供えする」という意味があります。香にはお線香や食料、お花、水などが含まれ、昔はお米などの食料をお供えするのが一般的でした。それが故人へ捧げる香の代金とし

### ご焼香

ご焼香は仏前に香を捧げることで深く敬い慎む心を捧げる、香りで邪気を祓い、心身を清めるといった意味を持っています。ご焼香は宗派によつてさまざまな作法がありますが、本来お葬式を行う家の宗派に合わせるのではなく、自分の宗派で行います。

て、現金を供える形に変化していったそうです。